

令和3年度豆類振興事業助成金(試験研究)の成果概要の要約

⑩課題:能登大納言小豆生産における省力化・効率化技術の確立(2~4年度)

代表者:石川県農林総合研究センター農業試験場 主任研究員 源 裕

目的

過湿土壌や日照不足の能登大納言小豆栽培への影響等について検討を行うとともに、大規模経営を実施する担い手の生産性向上のため、省力化技術の開発や大型機械実用性の検証等を実施する。

成果

①能登大納言小豆の落莢、肥大不足の要因解明

- ・モリブデン粉衣・富化種子の利用が生育・収量に及ぼす影響については、天候に恵まれたこともあり、判然としなかった。
- ・開花盛期後のモリブデン葉面散布で、子実中のモリブデン濃度を高められることを改めて確認した。

②異常気象に対応した能登大納言小豆の収量安定化と大粒割合増加のための技術開発

- ・カットドレインからハーフソイラ施工に切り替えて生育調査と収量調査を行ったが、明確な差がみられなかった。

③大規模な担い手や新規栽培者の生産性を高める省力化・効率化技術の開発

- ・スリップローラーシーダーの試験区で種子含水比が高くなり、発芽状態に至るのが早かった。

播種後の種子の状況

【慣行区】 播種：7月17日(土)						【試験区】 播種：7月19日(月)				
	調査日	サンプル重	絶乾重	含水比	発芽*1	調査日	サンプル重	絶乾重	含水比	発芽*1
播種後1日	-	-	-	-	-	7月20日	4.20	2.75	52.73	-
播種後2日	7月19日	3.98	2.89	37.72	-	7月21日	5.50	2.72	102.21	-
播種後3日	7月20日	4.70	2.83	66.08	-	7月22日	5.63	2.76	103.99	2
播種後4日	7月21日	5.09	2.90	75.52	2	7月23日	5.36	2.83	89.40	2
播種後5日	7月22日	4.40	2.72	61.76	1	7月24日	5.80	2.71	114.02	4
播種後6日	7月23日	10.40	2.84	266.20	8	-	-	-	-	-

*1: 土中で発芽・発根していたもの